

25日機輸通投第2号
平成25年3月29日

組合員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

紛争鉱物実務対応セミナー ～日本企業の初年度の取組みにおける留意点～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当組合では、KPMG グループより紛争鉱物問題の専門家を講師にお招きして、紛争鉱物の SEC 報告デューデリジェンス調査を巡る初年度の実務上の取組みに関するセミナーを開催することとなりました。

2010年7月に米国で成立した金融改革法（ドッド・フランク法）の第1502条は、コンゴ民主共和国（DRC）及びその周辺国で産出された4鉱物（タングステン、タンタル、スズ、金）を製品に使用する米国上場企業に対して、米国証券取引委員会（SEC）への報告義務を課しています。当該義務は、昨年8月のSECによる最終規則の採択を経て、正式に課せられることとなり、2013年1月よりSECへの報告の対象期間が始まっています。

従前より、当該義務を果たすべく、日本においても米国上場企業をはじめとするいくつかの企業では、自社のサプライチェーンを遡って、DRC及び周辺国産の鉱物の使用の有無について調査を始めていましたが、報告義務の初年度となる本年からは、より多くの企業が本格的な調査を開始することになります。このような調査は、米国上場企業のみならず、それらの企業と取引をしている企業や、さらに川上のサプライチェーン上に位置する企業にも影響を与えることとなります。本制度適用の初年度にあたる本年は、企業に対する当該調査のピークが今年の夏ごろに来ると予想されており、調査票への記入や回答の集計・リスク評価など実務上の取組みが重要な課題となります。

組合員各位におかれては、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

◆日時 平成25年 4月18日（木）13：30～16：00（開場13：00）

◆場所 機械振興会館 地下2階「機械振興会館ホール」（定員120名）
東京都港区芝公園3-5-8 TEL：03-3434-8216
会場地図 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

◆講演内容

第一部では、鋳物の製錬／精錬会社に対する主要な認証プログラム（EICC-GeSI の CFS プログラム、LBMA のレスポンシブル・ゴールドプログラム等）の実施状況や認証プログラム間の相互承認等について解説をいただきます。

第二部では、調査対象の特定と取引先からの質問への対応について、サプライチェーンや企業グループの観点から本規制によって影響を受ける企業の対応上の留意点、調査方法や紛争鋳物への対応方針の策定等についてご教示いただきます。

第三部では、調査票の回収・集計から報告に至るまでの作業プロセス、対外的な情報開示の方法、米国・日本等の企業による紛争鋳物への取組み事例等についてご教示いただきます。

【プログラム】

時間	講演内容／講師
13:30～13:35	開会挨拶
13:35～13:55 (20分)	【第一部】 製錬所／精錬所の認証プログラムについて KPMG あずさサステナビリティ株式会社 代表取締役社長 斎藤 和彦 氏
13:55～14:45 (50分)	【第二部】 調査対象の特定と取引先からの質問への対応について 株式会社 KPMG BPA 取締役パートナー 井口 耕一 氏
14:45～15:00	休憩
15:00～15:45 (45分)	【第三部】 調査票の集計と対外的な情報開示について 株式会社 KPMG FAS ディレクター 伊藤 益光 氏
15:45～16:00	質疑応答

◆参加費 無料（組合員企業限定）

※受講券の発行はございません。

※セミナー当日は、受付にお名刺をお渡しくくださるようお願いいたします。

◆お申込み方法

セミナー参加ご希望の方は、当組合ホームページからアクセスしてお申込みください。

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

◆お申込み締切日 4月16日（火）

※定員となり次第、締切りを繰上げる場合がございますので予めご承知おきください。

◆キャンセル方法

4月16日（火）までに、下記事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元（くらもと）、長岡

TEL：03-3431-9348、<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>

【講師略歴】

●齋藤 和彦（KPMG あずさサステナビリティ株式会社 代表取締役社長）

KPMG Climate Change & Sustainability Services の日本におけるカントリーリーダー。
KPMG ジャパンの紛争鉱物規制対応 CoE（センター・オブ・エクセレンス）のメンバー。
環境・CSR 関連のアドバイザリー業務や保証業務に 15 年以上の経験を有し、特に非鉄
金属製錬業における多数の業務提供実績を有する。

●井口 耕一（株式会社 KPMG BPA 取締役パートナー）

KPMG ジャパンにおけるオペレーショナル・リストラクチャリングとストラテジック・
コマーシャル・インテリジェンスチームの責任者。KPMG ジャパンの紛争鉱物規制対応
CoE（センター・オブ・エクセレンス）のメンバー。業績不振企業に対する事業（再生）
計画立案、業務改善、並びに M&A に関わるビジネスデューデリジェンス、価値向上施
策立案、PMI に係るアドバイザリー業務に従事。KPMG 参画以前は、プライベートエ
クイティ会社にて投資実行とハンズオン経営を統括、それ以前はコンサルティング会社
にてサプライチェーンマネジメント改革に従事。

●伊藤 益光（株式会社 KPMG FAS ディレクター）

KPMG ジャパンにおけるリスクコンサルティングとフォレンジックのリーダーの 1 人。
KPMG ジャパンの紛争鉱物規制対応 CoE（センター・オブ・エクセレンス）のメンバー。
日米にて 16 年以上のリスクコンサルティング業務の経験を有し、IT セキュリティやサ
イバーセキュリティの専門家でもある。また、会計監査、IT 監査、M&A、財務及び IT
デューデリジェンスにも従事。

以上